

教科	工業	科目名	課題研究	単位数	4
学科	機械科	学年	3 学年	履修区分	必修
使用教科書					
副教材など	必要に応じて図書館やインターネットで図書や資料を利用する。				

1. 科目の目的

工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 1) 工業の各分野について体系的・系統的に理解できるとともに、相互に関連つけられた技能・技術を身に付けるようにする。
- 2) 工業に関する課題を発見し、皇后に携わる者として独創的に解決策を探求し、科学的な根拠に基づき創造的に解決する力を養う。
- 3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2. 授業の内容と進め方

生徒の興味・関心、進路希望等に応じて、次の(1)～(4)の項目の中から、個人またはグループで工業に関する適切な課題を設定し、主体的かつ協働的に取り組む学習活動を通して、専門的な知識、技術などの深化・総合化を図り、工業に関する課題の解決に取り組むことができるようにする。

- (1)作品製作、製品開発 (2)調査、研究、実験 (3)産業現場等における実習 (4)職業資格の取得

3. 学習する上での留意点

- 1) 生徒の興味、関心、進路希望に応じて個人またはグループで適切な研究テーマを設定する。
- 2) 学校の施設・設備、費用、完成までの期間、生徒自らの能力、適性などを考慮して研究テーマを設定する。
- 3) 研究成果を整理し、わかりやすく発表できるように研究を深める。
- 4) 研究成果の発表会を設定し、保護者も参観できるように配慮する。

4. 課題等について

特になし

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
知識・技能(技術)	工業の各分野について体系的・系統的に理解できるとともに、相互に関連つけられた技能・技術を身に付けている。
思考・判断・表現	工業に関する課題を発見し、皇后に携わる者として独創的に解決策を探求し、科学的な根拠に基づき創造的に解決する力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む姿勢	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むことができる。

6. 評価の方法

出席状況および研究内容に関心をもって意欲的に取り組もうとしているか、また、習得した知識や技術を研究に活かそうとしているかについて、課題研究報告書、研究成果発表の態度や内容などから総合的に評価する。

《指導計画》 科目名 課題研究

3 学年

4 単位

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	グループ編成 テーマ設定、年間研究計画の立案 (テーマ)	計画的な研究の推進	教師の助言と観察
	5	① ② ③ ④ ⑤ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin: 10px;">未 定</div>		
	6	情報収集、部品・材料の調達および設計	目標に向けた取り組みの推進と、問題発生時の対応	教師の助言と観察
	7	調査・研究・製作	就職試験に向けてのオリエンテーション	教師の助言と観察
		進路対策		
	9	進路対策	面接練習	教師の助言と観察
		調査・研究・製作		
二 学 期	10	グループ内中間発表		生徒の自己評価および相互評価
	11	調査・研究・製作	研究の進捗状況の把握と指導	教師の助言と観察
	12	研究成果の整理		教師の助言と観察
	1	研究成果報告書の作成および提出		
三 学 期	2	研究成果発表 反省	年間を通しての反省	教師による評価
	3			